

各議員の議案に対する賛否の状況 ※賛否の分かれた案件を記載しています。

○：賛成 ×：反対

氏名	石川剛	国政	大野	眞鍋	三好	後藤	山川	河村	三宅	谷内	篠永	山本	苅田	吉田	井川	宇高	原田	青木	石津	飛鷹	谷	曾我部	石川秀	越智	西岡	三谷		
議案第66号	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	議 長	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
議案第67号	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
25年陳情第7号	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	
25年陳情第8号	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	



9月定例会において、2特別委員会が中間報告を行いました。

議会改革調査特別委員会

議会改革調査特別委員会が、昨年9月の報告以降の活動状況や今後の課題について中間報告を行いました。宇高英治委員長からは、議会活動を直接市民の皆様に報告し、御意見をいただく議会報告会について、5月の川之江及び三島地域での開催に続き、11月29日に蕪崎公民館及び新宮公民館で開催すること。また、議員が適切な市政運営が行われているかをチェックする一般質問において、一問一答方式を導入し、合わせて市長などに対し反問権を付与したことの報告がありました。

議会の本質的な役割は、地域の多様な意見をもとに討議を積み重ね、物事を決定することで、議会報告会の開催や一問一答方式並びに反問権の導入により、これまで以上の成果が期待されますが、今後も『誰のために、何の目的で議会改革を行うのか』を念頭に置き、調査、研究を継続していくと締めくくりました。

暮らしやすいまちづくり調査特別委員会

暮らしやすいまちづくり調査特別委員会が、昨年12月に新たな委員会として設置されてからの活動状況や協議事項について、中間報告を行いました。

『ポイ捨て』や『飼い犬のふんの不始末』といった比較的軽微な迷惑行為と、全国的に問題になっている『空き家』について、議員提出議案での条例策定に向けて取り組んでいるというものです。また、規制をかけることになるため、アンケートをとって広く市民の声を聞いたり、現地調査を行うとのことでした。

石津千代子委員長は、「市民に負担をかけるようになるので、当然慎重に議論していかなければならない」と述べられる一方、「条例名と目的が決まり、自然と美しいまちにしようという市民意識の醸成にもつながり、ひいては四国一ごみの落ちてないまち、美しいまちになることも可能とするものである」と、語られました。

《議会だより編集委員会》

編集委員 ◎印は委員長 ○印は副委員長

◎谷内 開 ○河村 郁男 石川 剛 山川 和孝
宇高 英治 石川 秀光 三谷つぎむ

※議会だよりは、年4回（5月号・8月号・11月号・2月号）
広報との合併号になります。

【お問い合わせ先】

〒799-0497 愛媛県四国中央市三島宮川4丁目6番55号
（四国中央市議会内）TEL 0896-28-6048

《おわびと訂正》

9月1日発行の四国中央市議会10周年特別号11ページにおいて、氏名の記載に誤りがありました。

下記のとおり訂正し、おわび申し上げます。

誤： 南小学校 進藤 うららさん
正： 南小学校 信藤 うららさん

常任委員会の審査概要

※紙面の都合上、質問は抜粋しています。
 ※委員会の概要をケーブルテレビで放送中。

環境経済委員会

◎飛鷹 総慶 ○三宅 繁博 河村 郁男 ◎委員長
 谷内 開 井川 剛 青木 永六 ○副委員長

●議案第70号「平成26年度四国中央市一般会計補正予算（第3号）」所管分

質問 総務費県補助金、新ふるさとづくり総合支援事業費補助金に係る多文化共生事業の内容を伺う。

答弁 本年2月に四国中央市国際交流ビジョンが策定され、その施策の一環として多文化共生事業を実施している。今年度は、日本語がわからない外国人が災害時に避難所へたどり着けるよう約600枚の防災カードを作成し配付する。

質問 農業振興費、伊予美人PR事業補助金の詳細を伺う。

答弁 毎日新聞社主催の全国農業コンクールにおける農林水産大臣賞の受賞を契機として、より一層の消費拡大を図るため、新ふるさとづくり総合支援事業費補助金を活用して直径2メートルの大鍋やのぼりを作製し、産業祭やサイクリング大会で伊予美人をPRする予定である。

第63回全国農業コンクール全国大会で「うま農業協同組合特産部会里芋専門部会」が農林水産大臣賞を受賞



●議案第74号「平成26年度四国中央市駐車場事業特別会計補正予算（第1号）」

質問 市新町駐車場に全自動料金精算システムを導入することによる収支及び償還の見込みを伺う。

答弁 機械化することにより24時間365日の料金徴収が可能となり、115万円の収入増加と62万円の管理費の節減で、差し引き年間170万円の黒字増になると考えている。また1,500万円の起債の償還については、地方公共団体金融機構から3年据え置き20年償還で借り受けており、10年目以降は実質的な黒字になると試算している。

全自動料金精算システム導入予定の市新町駐車場



建設水道委員会

◎吉田善三郎 ○山川 和孝 眞鍋 幹雄 ◎委員長
 谷 國光 曾我部 清 石川 秀光 ○副委員長

●議案第70号「平成26年度四国中央市一般会計補正予算（第3号）」所管分

質問 道路橋りょう費の道路維持費と河川費の河川改良費のうち、支障物件補償費の内容について伺う。

答弁 道路維持費の支障物件補償費は、道路新設に伴い、NTT柱や電力柱が支障になるため、NTTや四国電力に移転してもらうための費用である。また、河川改良費の支障物件補償費は、野田地区の雨水排水路の整備に伴う20本ほどあるカイツカ等の補償費である。

質問 港橋橋梁改修事業について、いつから供用開始になる予定なのか。

答弁 現在橋脚を施工しており、11月に完了予定である。その後、上部工の桁の製作と架設を平成26年度中に行う。平成27年度に、さらに国へ補助申請をし、舗装や高欄の設置を行い、平成27年度末に供用開始を考えている。

質問 公園整備事業の施設整備工事について、市内の公園を点検した結果、補修等が必要な遊具の工事は、今回で全て完了するのか。

答弁 今回の補正予算によって、市内の公園で特に補修が必要な遊具の工事は、全て完了する予定である。今後も毎年点検を行って、随時、老朽化している遊具については対応していきたいと考えている。

●議案第73号「平成26年度四国中央市下水道事業特別会計補正予算（第2号）」

質問 管渠整備事業の浸水対策業務委託料が発生した原因と、今回の浸水対策に伴う今後の工事費について伺う。

答弁 平成25年9月の豪雨で何カ所か浸水被害が発生したためである。雨水排水施設があるにもかかわらず、浸水が発生する原因を分析し、浸水対策方法を検討した結果、今後、詳細な実施設計を行い、それに伴い、工事費も計上されることになる。

平成26年第3回 四国中央市議会定例会 議決結果一覧

番号	件名	議決結果
議案第64号	地方自治法第96条第2項の規定による議会の議決すべき事件を定める条例の制定について	原案可決
議案第65号	四国中央市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決
議案第66号	四国中央市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決
議案第67号	四国中央市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決
議案第68号	四国中央市公民館条例及び四国中央市教育施設等使用条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第69号	四国中央市旅客自動車条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第70号	平成26年度四国中央市一般会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第71号	平成26年度四国中央市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第72号	平成26年度四国中央市港湾上屋事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第73号	平成26年度四国中央市下水道事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第74号	平成26年度四国中央市駐車場事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第75号	平成26年度四国中央市後期高齢者医療保険事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第76号	平成26年度四国中央市水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第77号	平成25年度四国中央市水道事業会計剰余金の処分について	原案可決
議案第78号	平成25年度四国中央市工業用水道事業会計剰余金の処分について	原案可決
議案第79号	訴えの提起について	原案可決
議案第80号	土地の処分について	原案可決
議案第81号	四国中央市川之江浄化センター（長寿命化）の建設工事委託に関する協定の一部を変更する協定の締結について	原案可決
議案第82号	金子1号上屋新築工事（建築工事）請負契約の締結について	原案可決
議案第83号	市長等の給与の特例に関する条例の制定について	原案可決
議案第84号	平成26年度四国中央市一般会計補正予算（第4号）	原案可決
認定第1号	平成25年度四国中央市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査
認定第2号	平成25年度四国中央市水道事業会計決算、四国中央市簡易水道事業会計決算及び四国中央市工業用水道事業会計決算の認定について	継続審査
意見書第6号	「手話言語法（仮称）」の早期制定を求める意見書について	原案可決
26年陳情第6号	「四国中央市人権対策協議会の補助金」に関する陳情	継続審査
26年陳情第7号	手話言語法（仮称）の早期制定を求める意見書の提出に関する陳情	採 択
25年請願第2号	フクシマを繰り返さないために伊方原発の再稼働を認めないことを求める請願	継続審査
26年請願第3号	「新たな知見」で伊方原発の徹底検証等を求める請願	継続審査
25年陳情第5号	伊方原発の再稼働を認めないことを求める陳情	継続審査
25年陳情第6号	住民の安全・安心を支える公務・公共サービスの体制・機能の充実を求める陳情	継続審査
25年陳情第7号	介護職員の処遇改善を求める陳情	不 採 択
25年陳情第8号	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める陳情	不 採 択
26年陳情第3号	海洋環境整備事業の充実と体制拡充を求める陳情	継続審査
26年陳情第4号	「住宅新築資金等貸付事業の滞納問題」に関する陳情	継続審査
26年陳情第5号	家族従業者の人権保障のため「所得税法第56条の廃止を求める意見書」の採択を求める陳情	継続審査

◆ジビエの取り組みで地域の活性化を

質問 年間 500 頭弱のイノシシ、鹿が捕獲されているが、数%しか食肉として利用されていない。その肉をもっと多く利用し、ジビエ料理を普及すれば、新たな食文化の創出ができ、地域の活性化が図られるのではないか。それには食肉加工場が必要不可欠だが、設置する考えはないか。



三宅 繁博 議員

答弁 市長、副市長、農林水産担当部長

市内で捕獲されたイノシシ、鹿の肉を国の安全基準に適合した食肉加工場で処理を行うことができ、販路が確保された上で販売や利活用されれば、新たな観光資源や食文化の創出につながり、地域が活性化される可能性がある。ただ、これまでの有害鳥獣捕獲の実績等から、食肉用としての供給量の確保や捕獲技術の問題、食肉として加工販売できる解体技術者や施設経営力など、技術的・経営的側面から多くの課題が山積している。これらのことを踏まえ、議員御提案の趣旨については貴重な御提案として受けとめ、日ごろから意欲のある方々と研究していくことが重要であると考えている。

その他の質問 ○ため池等のハザードマップについて ○フッ化物洗口の補助について

◆嶺南地域の人口減少について

質問 当地域の現在の人口は、金砂町、富郷町を合わせて 220 人で、合併時と比較すると 3 分の 2 に減少している。このままのペースで減り続けると、20 年後には消滅集落になるおそれがある。ダムのため移転を余儀なくされた人々のためにも、どのような方策を考えているか。



刈田 清秀 議員

答弁 副市長

嶺南地域の活性化を考える上で、新法皇トンネルの建設があるが、防災面の強化や交流人口の増加、それに伴う経済効果等により人口の U ターン、I ターンが期待できる重要な事業であるため、早期の事業着手を目指したい。議員御指摘のとおり、集落の維持が困難となっている地域があるが、長年住みなれた土地を離れたくない方もおられ、集落の再編制等を検討する上でも難しい問題があると考えている。いずれにしても、行政としての役割を明確にしながら、地域住民の意見を尊重し、協議会と連携を図りながら嶺南地域の活性化に努めていきたい。

その他の質問 ○災害時におけるタイムラインについて

◆地域包括ケアシステムの構築についてお伺いします

質問 急速に進む高齢化社会の対応として、地域包括ケアシステムは、地域の実情、特性にあった仕組みづくりを構築しなければなりません。当市における取り組み状況、計画、課題、認知症対策、ボランティアについてお伺いします。



国政 守 議員

答弁 市長、副市長

本市では、昨年度県と共同で地域包括ケアシステム構築プロジェクトを立ち上げ、ネットワークを強化する一つの手法として地域ケア個別会議を位置づけた。地域ケア個別会議を開催し、地域の課題を洗い出す作業を行っているが、認知症で徘徊する方を地域でどう支えるかが課題となっており、地域ケア推進会議でさらに検討する予定である。また、認知症の方の状態に応じた適切なサービス提供の流れを表記した認知症ケアパスを、今年度作成する予定である。高齢者のボランティア参加についても、地域ケア会議において地域のニーズや社会資源を把握し、地域の共通課題を関係各機関とも共有する中で発掘していきたい。

その他の質問 ○学校教育と子育てについて

◆建設課・市単独事業「要望書」について問う

質問 現在の市単独事業要望書件数や今後の事業の進め方について、優先順位や予算配分は誰がどのような基準をもって決定するのかをたず。地域的に偏らない公平公正な事業推進を図るために、今後の事業決定に対する考え方を問う。



曾我部 清 議員

答弁 建設部長

建設課において市単独道路改良事業として受け付けている要望箇所件数は、現時点で 47 件である。事業の予算配分としては、公平な配分とするため、各地域の人口、市道延長等を考慮し割り振りを行っている。現在実施している事業は 63 カ所あるが、事業箇所が完了すると、未処理要望箇所の中から新規事業箇所を選定し、実施していくこととなる。事業の新規採択、実施については、一定基準のもと公平公正に選定しているが、主に地域に密着した生活道路の改良事業であることから、要望者や地元自治会、地元市議会議員等の意見を参考に選定していきたいと考えている。

その他の質問 ○新庁舎基本構想（案）について ○有害鳥獣被害対策について

常任委員会の審査概要

※紙面の都合上、質問は抜粋しています。
※委員会の概要をケーブルテレビで放送中。

総務委員会

◎越智 滋 ○後藤 光雄 大野 勝 三好 平 ◎委員長
篠永 誠司 山本 照男 石津千代子 ○副委員長

●議案第 69 号「四国中央市旅客自動車条例の一部を改正する条例について」

質問 来年度以降の対応として、従来と同じ 6 便を確保するという考えはあるのか。

答弁 運行経費は、バス会社によりさまざまであり、今回の措置でどの程度赤字が見込まれるかは、現時点においては想定できない。この 1 年については、どの程度の負担増になるか状況を見て、今後増便について検討し、対応していきたい。

●議案第 70 号「平成 26 年度四国中央市一般会計補正予算（第 3 号）」所管分

質問 災害対策施設整備事業の事業用備品は、当初予算で防災倉庫 40 棟、非常用電源を設置する 2,300 万円の計上であった。財源は、市単独起債であったが、有利な補助金を使うためという理解でよいのか。

答弁 災害対策施設整備事業の事業用備品は、委員御指摘のとおり当初予算で計上しており、財源は、今回減額している緊急防災減災事業債で充当率は 100%であった。防災倉庫は備品として計上しており、また、発電機については移動用としていたが、起債申請に係る県との協議の中で、避難所にそれぞれ固定して設置しなければ、起債対象にならないという指摘があり、同様な事業に充てることが可能な補助金が新たに設けられたことから組み替えたものである。

質問 新庁舎建設事業の基本計画策定支援業務委託料は、どのような方法で委託していくのか。

答弁 基本計画策定支援業務委託料の総額は 600 万円で、今年度はうち 30%の 180 万円、来年度は 420 万円の予算を見込み、2 年間で策定していく。基本構想の中では、新庁舎は本庁舎周辺で、庁舎の規模は、延べ床面積 1 万 3,000 平方メートルとしているところであり、今後、基本設計、実施設計に向かうため、具体的な建設場所や周辺の敷地計画及び規模や階層等の詳細などを定める基本計画を 2 カ年で策定するものである。

教育厚生委員会

◎刈田 清秀 ○石川 剛 国政 守 宇高 英治 ◎委員長
原田 泰樹 西岡 政則 三谷つぎむ ○副委員長

●議案第 65 号「四国中央市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について」

質問 働いている保護者が安心して児童を預けられる放課後児童クラブ事業及びその事業拡充は重要な事項であり、充実してきたと感じる点であるが、小学校の全学年を対象とするには、物理的にクラブ数の増加が課題である。整備の完了予定等の見通しは。

答弁 新制度に向けての放課後児童クラブの設置については、文部科学省及び厚生労働省からの通達により、放課後子ども総合プランへの取り組み方針が示されている。これは空き教室等の学校施設を利用し、待機児童の解消に取り組もうとするものである。現状では各小学校における空き教室が少ないことから、教育委員会とも協議を行いながら取り組む必要がある。また、整備の時期については、子ども・子育て支援事業計画が、平成 27 年度から 31 年度までの 5 カ年計画であることから、その期間中の整備の一つのめどとして考えている。

●議案第 67 号「四国中央市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について」

質問 幼稚園においては私立幼稚園就園奨励費補助制度があり、公立の幼稚園との均衡が図られていたと思うが、制度の変更点は。

答弁 私立幼稚園の保育料は平均月約 2 万円から 2 万 5,000 円であり、所得に応じて就園奨励費補助制度があるが、平成 27 年度からの新制度では当該制度がなくなり、所得に応じた応能負担となる。所得に応じた応能負担は保育所においても同様であるが、保育時間に相違があるため、それに合わせた保育料の設定となる。現状において具体的な金額は未定である。

●議案第 70 号「平成 26 年度四国中央市一般会計補正予算（第 3 号）」所管分

質問 新宮小中学校について、現在の児童生徒数は 48 名となっており、今後も減少が予想されるが、新宮小中学校の新築規模はどの程度を想定しているのか。また、新校舎の完成予定は。

答弁 建物については実施設計中であるため、現時点での答弁となるが校舎棟が木造 2 階建て、体育館棟が R C 造で 1 階部分に特別教室を設置する予定である。延べ約 2,700 平方メートル程度の面積となり、現在の新宮小中学校と比較して、約 700 平方メートル程度コンパクトな設計となる見込みである。また、完成に向けた工程として、既存建物の撤去及び造成に半年を要し、その後平成 27、28 年の 2 カ年で新校舎の完成を目指している。

◆縦割り行政という問題と防災対策における行政各部署の連携について

質問 行政の縦割りが問題視される中、行政が一体となって取り組むべきこととして防災対策が考えられるが、防災情報を確認する手段としてSNS等の活用は。また、自主避難の参考にするためのハザードマップ、判断基準ガイドの作成、連帯感の醸成への取り組みは。



石川 剛 議員

答弁 市長、消防長、秘書広報課長

SNS^{*1}等の活用については、来年4月のフェイスブック開設に向け、現在準備を進めている。ハザードマップについては建設課が土砂災害ハザードマップ、農林水産課がため池ハザードマップを別途作成しており、完成すれば該当地区へ配付する予定である。自主避難の判断は土砂災害の場合が特に難しいが、前兆現象として腐った土のおいがする、地鳴り山鳴りがするなど、いつもと違う状況を感じたら、これらを避難の判断基準として早目の自主避難を心がけていきたい。市民との連帯感の醸成については、防災訓練などにおいて消防団との合同訓練なども検討し、行政と市民の距離を少しでも近づけ、災害発生時の円滑な活動につなげたい。

*1…人と人とのつながりを促進・サポートする、インターネットを利用したサービスのこと。

その他の質問 ○高齢者のための施設について ○観光の取り組みとマナーの徹底について

◆文化によるまちおこしについて

質問 我が市の誇る文化的まちおこしの成功例は書道パフォーマンス甲子園です。三島高校2度目の優勝おめでとうございます。土居の暁雨館には250年前の俳諧文化によるまちおこしを伝える山中家折本が3冊残っております。ぜひ、これらの市の文化財への指定を要望します。



河村 郁男 議員

答弁 市長、教育長

山中家折本とその歴史的経緯は、俳諧文化という地域遺産を生かしたまちおこしの好例である。ふるさとを見詰め直し全国各地の俳人へ新しい情報を発信した教養と行動力は、文化によるまちおこしを考える上で貴重な先人の取り組みであり、まさに温故知新の精神と言える。教育委員会では、伝統的な文化の保存に努めながら次世代へ継承し新たな文化の創造を図るべく各種事業に取り組んでおり、今後も基本となる文化財保護行政や文化振興事業を大切にすることで、単発的な事業にとどまることなく継続的な文化によるまちおこしにつなげていきたい。

その他の質問 ○青年団活動について ○感染症対策について

* P 34 写真参照

◆防災備蓄倉庫について

質問 南海トラフ大地震を初め、ゲリラ豪雨や竜巻など自然災害による被害が憂慮される中、防災備蓄倉庫は不可欠であると言える。本市の防災備蓄倉庫の現状をどのように把握しているか。また、さらにふやしていく予定は。そして、備蓄品の管理とそれを使用する訓練はどうしているのか。



大野 勝 議員

答弁 市長

市内の防災倉庫は、川之江庁舎や新宮診療所などに設置しているが、備蓄物資等の保管については、現在市が所有する備蓄倉庫はないことから、各庁舎の空きスペース等を利用して保管している。今後の整備については、5カ年計画で、避難所等に備蓄倉庫や資機材を整備する予定である。アルファ米や飲料水などの備蓄品については、賞味期限を確認し、定期的な更新を行っており、自主防災組織等で炊き出し訓練などを実施する際に、更新予定の備蓄品を提供し、役立てていただいている。

その他の質問 ○危険物の管理体制について

◆香川県境周辺地域の道路整備について

質問 県境周辺地域の道路は国道11号1本しかないが、津波が起きた場合、この地域の住民の避難をどう考えているのか。この近辺での交通事故などによる渋滞の対策をどのようにするのか。余木地区で工事が中断している道路を余木工業団地へつなぎ開通させることはできないか。



石津 千代子 議員

答弁 消防長、建設部長

議員御案内のとおり、避難に利用する道路としては、香川県に向かう東方向については国道11号のみとなる。津波避難に関する避難場所については、さまざまな機会を捉え地元の方々に周知するとともに、避難路などの整備等についても関係課等と協議していきたい。国道11号での渋滞解消や災害時ルート確保を目的として、観音寺市との連絡道路の整備について検討を進めていたが、まずは国道11号バイパスの延伸を進めていくという方針により検討が進んでいない状況である。余木工業団地への路線地域については、土砂災害警戒区域、うち一部は特別警戒区域に指定されており、避難路としての整備については再検討が必要と考えている。

その他の質問 ○防災関係について ○ふるさと納税について

* P 34 写真参照

◆国は介護保険制度を大改悪。市は高齢者の願いにどう応えるか

質問 国は介護保険制度を①要支援を外す②特別養護老人ホームの入所者を要介護3から③年金収入、本人の預貯金の状況でサービス料金を2割負担とする等決定。市は高齢者の介護サービスをどのように支えるのか。また、市の特別養護老人ホーム豊寿園をただ同然で愛美会へ売り払うのは白紙に戻すべき。



三谷 つぎむ 議員

答弁 副市長

今回の介護保険制度の改正により、予防給付の訪問介護及び通所介護が、全国一律の基準に基づくサービスから、地域の実情に応じて市が効果的かつ効率的に実施する介護予防・日常生活支援総合事業に移行するもので、本市では平成29年4月から実施する予定である。今後、制度開始までにNPO、民間企業、ボランティアなどの地域の多様な主体の御協力をいただき、高齢者を支援する体制を整えていく。豊寿園の民営化については、4月に委譲先を決定し議員の皆様にお知らせさせていただいたところであるが、条例改正と財産処分については、国・県及び関係機関等と事務手続き等の調整が確定した後、3月議会に上程させていただく予定である。

その他の質問 ○来年は終戦70年目となるが ○学校給食、市の方向性を問う

○住民の命守る県政要求を ○三島地域中心部の会議室が大幅不足にどう応えるか

◆全国学力テスト結果の本市への影響について

質問 四国中央市は全国学力テストの市町別結果数値を一般公表しなかったが、どういった理由で非公開としたのか。また、この学力テスト結果をどのように各学校、各子供たちの成長に生かすことができるのか。合わせて本調査を踏まえての小規模学校改善の計画を伺う。



宇高 英治 議員

答弁 教育長、教育部長、学校教育課長

全国学力・学習状況調査の目的は、現時点での個人の伸びや課題を把握して具体的方策を考え、実践していくことにある。過度の競争や序列化を招くような正答率の数値公表は行わず、市教育委員会が策定した結果の公表に関するガイドラインにのっとって公表を行い、結果をどのように教育に生かしていくかを説明することが肝要であると考えている。各学校においては、児童生徒にみずから学ぶ力をつけるような働きかけをしていくとともに、指導の充実や工夫改善に役立てていく。また、学力テストの結果から、学力の定着度と学校規模には関連性がないと考えている。学校再編制については十分協議しながら進めていきたい。

その他の質問 ○えひめ国体を控えて市内開催競技以外の競技運動施設整備計画を問う

◆公共施設等総合管理計画について

質問 我が国では、過去高度成長期に、公共施設の多くが集中的に整備されてきた。本市において、庁舎を初め公民館、体育館、福祉施設、市営住宅、道路、橋梁、上下水道、斎場や浄化センターに至るまで、今後多くの施設の更新、統廃合、長寿命化等の管理計画をどのように策定していくか。



吉田 善三郎 議員

答弁 市長、副市長、企画財務部長、建設課長

総合管理計画については、国から可能な限り速やかな策定が必要であるとの要請があること、また、今年度から3年間にわたり策定に要した経費について財政措置が設けられていることから、平成28年度までには策定する必要がある。現在、関係課で今後の具体的な策定スケジュール等について検討している段階で、推進体制等について速やかに取りまとめを行い庁内全体の問題として取り組んでいきたい。既に策定されている長寿命化計画などを勘案しつつ総合管理計画を策定するとともに、必要があれば個別の計画の修正も行いたいと考えている。また、策定されていない施設についても新たな個別計画の策定が必要になると考えている。

その他の質問 ○当市の墓地行政について

◆県下一高い国保料の一人1万円引き下げと、短期証は3カ月証の発行を求める

質問 平成25年度一人当たり国保料11万2,309円は、県下11市平均より約1万6,000円も高く、他市のように一般会計からの繰り入れで一人1万円の引き下げを求める。異常な1カ月短期証は四国中央市だけで、他市並みに3カ月短期証への改善を求める。



青木 永六 議員

答弁 市民環境部長

保険料引き下げについては、平成24年度の料率改定の際に、平成26年度までは料率を据え置くことを前提として引き下げを実施しているため御理解いただきたい。一般会計からの繰り入れについては、今後想定を超えた医療費の増大等があった場合においては、繰り入れも視野に入れ対応したい。また、短期被保険者証の発行取り扱いについては、現在1カ月の保険証を交付しているが、これは被保険者と接触する機会をより多く確保し、納付相談・指導に当たり納付意識の向上を図るためのものであるため、現状の運用で進めていきたい。

その他の質問 ○子ども・子育て支援新制度は、子ども・子育て支援になるのか

○滞納額約3億円に及ぶ住宅新築資金等貸付事業の滞納整理方針を問う

四国中央市議会

議会報告会



開催いたします

2014年11月29日(土)午後7時より

開催場所：東会場／新宮公民館（新宮町）
西会場／蕪崎公民館（土居町）

2会場同時開催

東会場 参加予定議員

眞鍋 幹雄・後藤 光雄・山川 和孝・谷内 開・篠永 誠司・井川 剛・宇高 英治
原田 泰樹・石津千代子・飛鷹 總慶・曾我部 清・西岡 政則・三谷つぎむ

西会場 参加予定議員

石川 剛・国政 守・大野 勝・三好 平・河村 郁男・三宅 繁博・山本 照男
苅田 清秀・吉田善三郎・青木 永六・谷 國光・石川 秀光・越智 滋

ぜひご参加ください

主催：四国中央市議会 お問い合わせ／四国中央市議会事務局 電話：28-6048

議会を傍聴してみませんか!?

本会議及び委員会は原則として公開していますので、どなたでも傍聴することができます。傍聴を希望される方は、本会議及び委員会当日に、市役所5階で傍聴人受付簿に氏名、住所を御記入の上、傍聴してください。また、本会議の様子は市役所2階ロビー及び各庁舎、ケーブルテレビ、インターネットで生中継をしています。

四国中央市 議会中継 検索

9月定例会の委員長報告をケーブルテレビで放送しています（放送時間等は不定です）。

一般質問

紙面の都合上、1議員1問の質問を掲載しています。



◆子供の医療費を中学校まで無料化について

質問 少子化がますます進む中、子供の医療費助成は重要な課題である。独自に訪問調査した隣の観音寺市ほか四国内の自治体の半数以上が中学卒業まで無料化している中で、本市も早急に実施すべきと考えるが、現状と今後の取り組みを伺う。



答弁 市長

本市における子供の医療費助成については、平成20年1月から就学前の医療費の完全無料化を実施し、平成23年4月には中学3年生までの入院医療費の助成を開始するなど、子育て世代における市民の医療費負担の軽減に努めている。中学3年生までの医療費完全無料化を実施すると仮定して試算したところ、年間1億3,000万円から1億5,000万円の費用が必要になる。その財源の捻出について研究するとともに、関係機関等との調整を図りながら実施時期なども含めさらなる検討を重ねていきたい。

山川 和孝 議員

その他の質問 ○市民文化ホール建設の今後について ○豪雨による土砂災害の防止について ○乳児園の入園待ち解消について ○デマンドタクシーの利便性向上について

◆市民文化ホール入札強行とその結果を問う

質問 3回目の入札結果は、市の税込み予定価格を12億5,280万円上回る76億3,560万円で不調となった。屋外工事を含めると総額80億円に及ぶ巨大箱物計画となっている。当初の55億2,220万円と比較すれば、実質24億1,340万円も上回る。白紙から出直し、計画・予算の大幅縮小で市民の声に応えよ。



答弁 企画財務部長、総務部長、市民文化ホール等整備課長、管理課長

3度目の入札不調の結果を受け、今後は入札参加者への聞き取りや詳細な内訳書をもとに、設計者を通じて収集した情報も加え、どうしてこのような開きが出たのかという原因について分析を行いたいと考えている。また、事業実施を前提として、現計画を白紙に戻し、市の財政状況や今後の入札環境に配慮しながら、市民が求めている実現可能な機能・施設規模を早急に再検討し、早期着工・完成に向けて鋭意努力していく。

三好 平 議員

その他の質問 ○第2次総合計画の中間報告について ○伊方原発とめる意思の表明を

◆自治会運営について

質問 自治会費の中から防犯灯設置費用及びその電気代に注目し、多くの通行者の安全・安心を確保するため、また、自治会運営を支援するために、補助金の支出をより一歩前進させ、市が直接市内全域の防犯灯を設置することと合わせて、全域の防犯灯の電気代を支払うことを思う。



答弁 市民環境部長、総務部長

それぞれの自治会の地理的立地条件を鑑みると、地形やその景観など地域ごとで差異があることは議員御案内のとおりである。このことを踏まえて総合的に勘案すると、防犯灯の設置は、自治会の皆さんの総意で地域の実情に即した設置を行うと、きめ細かで効果的に、そして何よりも迅速に設置が可能であると思われる。また、これまでの事業継続により、この事業が市民の皆さんに広く浸透している現状を鑑みると、市補助金の交付による行政と自治会の協働での設置が、現時点では好ましいと考えているので、御理解いただきたい。

眞鍋 幹雄 議員

その他の質問 ○組織機構について ○道の駅について

あなたの
お店や会社を
宣伝しませんか?
**バナー
広告主募集**
問い合わせ先 広報広聴係 28-6158

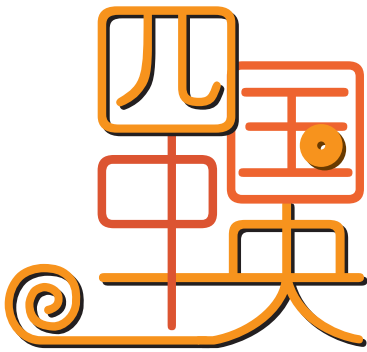
KUMON
11月無料体験学習受付中!!
川之江金田教室(坪井) 上柏バイパス教室(池田) 専川教室(菊池)
川之江馬場教室(藤江) 中宿郷教室(飯野) 豊岡教室(藤原)
川之江豊島教室(藤原) 三島中央教室(飯野) 土居民津教室(鈴木)
金生中央教室(藤原) 中之庄中央教室(単礼) 土居中央教室(井川)
★お申込み・お問い合わせは下記フリーダイヤルまで★
☎0120-372-100
●対象/幼児、小学生、中学生、高校生以上
●教科/算数・数学、英語、国語

三島川之江インターから
三ノ宮・大阪へ
1日9往復 好評運行中
観音寺(あり)からも
3列 1日7往復!
シート往復割引・学生割引あり
ジェイアール四国バス 検索 アプリック
ジェイアール四国バス

Jアラマティセービスセンター
あったか荘
三島 中之庄町1684-4 Tel:24-8712
川之江 豊島町1525 Tel:58-2132
土居 土居町土居885-1 Tel:74-0150
営業時間/8:30~17:00
定休日/土曜・祭日・年末年始

ブライダルフェア
11/16 sun
入籍したけれど、
式はまた... 一生に一度の大切な
つくりませんか?
ホテルグランフォーレ
愛媛県四国中央市三島新町1-1-30 Tel:0896-23-3355

あなたの
お店や会社を
宣伝しませんか?
広告主募集
問い合わせ先 広報広聴係 28-6158



2014. 11. 1 NO. 42

市議会

だより



平成 26 年第 3 回定例会は、去る 9 月 9 日から 9 月 30 日までの 22 日間の会期で開かれました。

今定例会には、平成 26 年度一般会計補正予算案を初め、市長提出議案 21 件、認定 2 件、意見書 1 件、陳情 2 件が上程されました。

主な内容

- ① 議会報告会、傍聴案内……………P35
- ② 一般質問……………P34 ～ P31
- ③ 委員会の審査概要……………P30 ～ P29
- ④ 議決結果一覧……………P28
- ⑤ 賛否の状況、中間報告……………P27

住む人に優しい家づくりをご提案！

新築・リフォーム・リノベーション

**自然素材+地中熱利用の
エコ住宅が得意な会社です！**

花粉症やPM2.5対策もバッチリ！電磁波にも配慮した快適な住まいで、安心して暮らしてみませんか？

ココロハス一級建築設計事務所 / ㈱大和ホーム
土居郵便局西隣
TEL74-5833

ココロハス 検索

イベントや記念品・贈呈品に
しこちゅ〜ティッシュ
好評発売中 定価 300円
ネオローションティッシュ 120W 3個パック

株式会社 ヨンパ
オリジナルBOXティッシュの
みならヨンパにぜひお任せ下さい。

〒799-0431
四国中央市琴川町 2532
TEL 0896-23-2426 FAX 0896-23-2570
URL www.yonpa.com

業務内容 ▶ ●ノベルティティッシュ、企画・製造・販売 ●その他ノベルティツール企画・販売
●家庭紙、衛生紙、抗菌紙の製造・販売 ●輸入紙製品、販売

広告

第一歩から
増改築まで **真のリフォーム**

**住む人の事を考えて
快適な暮らしを
サーヴ ご提案をするワン！**

真心込めたご提案 リフォームのサーヴ
TEL 0120-046-302

私たちの気持ちをお
わかってくれて
サーヴさんに頼んで
ホントに良かったわ

四国中央市川之江町 1655-3
川之江駅通りアーケード内 **興陽商事(有)**

売土地募集中！ 0896-58-5298